

[担当教員]

橋橋修（准教授）栗山尚子（准教授）深川礼子（ofa）

[Teaching Assistant]

二宮幸大（A70）甲斐凜生（A70）矢野文隆（A70）

### ■課題概要

図書館機能と地域コミュニティの醸成に資する機能の組合せによって、現代の地域ニーズに合った地域図書館を、計画・設計する。

### ■演習のねらい

- (1) 公共図書館のネットワークと役割分担、図書館の機能、図書館建築の機能・空間構成を理解すること。
- (2) 施設が立地する地域の歴史、空間的・社会的特徴を把握し、地域コミュニティ施設のあり方を考えること。
- (3) 以上を踏まえて、地域コミュニティ施設としての図書館の望ましい空間を提案すること。

### ■敷地

敷地I、敷地IIのうち、ひとつを選択すること。

- ・敷地I：阪急六甲駅南側、六甲八幡神社境内に隣接する敷地。
- ・敷地II：阪神新在家駅南側、新在家南公園の北側の敷地。



### ■計画建物の概要

- (1) 延床面積 1,600 m<sup>2</sup>前後

(±10%程度の増減は可、ピロティ、庇、バルコニー、屋外階段等は面積に参入しなくてよい。)

注意：敷地I、IIはともに容積率200%の地区で3,000 m<sup>2</sup>以上の敷地面積があるが、本課題では上記の延べ床面積とする。

- (2) RC造、鉄骨造、または木造（準耐火建築物）

- (3) 階数／複数階（平屋建ては不可）

- (4) 所要室：閲覧部門490 m<sup>2</sup>程度、集会・地域活動部門300 m<sup>2</sup>程度、収蔵部門130 m<sup>2</sup>程度、共通適宜、管理部門80 m<sup>2</sup>程度、外部空間（エントランス広場、読書テラス、駐車場×2程度、駐輪場×20程度）

### ■提出図面・用紙

- (1) 所要図面

・配置図 1/500 建物本体については屋根伏図で示すこと。

・各階平面図 1/100 1階平面図には外部空間の計画を明示のこと。

・立面図・断面図 1/100 主要面・1面以上。

・透視図（必須）1葉以上

・模型写真（必須）・完成模型（必要に応じて）

・設計主旨・面積表

・ダイヤグラム、プログラム等（必要に応じて）

- (2) 用紙：

・A1 ケント紙あるいは同等の紙（プレゼンテーションの工夫として色つきの紙でもよい）鉛筆、インキング等の仕上げ自由。デジタル仕上げでも可

## 自然と自然を歩く図書館

宮本知美

緑の少ない新在家の敷地に森と図書館を提案する。様々な大きさの箱を積み上げることで様々な角度や高さから自然を感じることができ、また、箱をばらつかせ、1本の曲線でつなぐことで人々を外へ導き、まるで森の中を歩いているかのような印象を与える。



## 巡り合わせ

山本真菜

六甲周辺に散らばる店主こだわりのハンドメイド雑貨やお菓子、衣服のお店を図書館という場に集め人々に知つてもらうと同時に、それらの興味を探求・体験する機会を提供する。各室は緩やかにつながり、垂木が特徴的な円の大屋根をかけた回遊性のある図書館となっている。



## 今日の居場所

吉川日々輝

私たちは情報を簡単に手にするようになり、情報の価値は薄れ記憶は断片化した。今、直接的に物事を捉え、人々の記憶に残り続ける場所が求められている。不規則に曲がる壁や高低差によって、常に変化し続ける空間に感情を躍らせ、その日の心の居場所を見つけてほしい。



# 六甲のはざまで

磯野巧輔

地域の避難所としての図書館を計画する。日常と非常時の使われ方を関連付けたプランとしつつ、ピロティを大きく設けるなど、非常に柔軟な対応ができる自由度の高い空間を散りばめる。光庭と賑やかな児童開架閲覧室を中心に、人々の心を癒す「居場所」が広がる。



## Output.

菅進馬

図書館は情報を保管・提供する役割があるが、今までの図書館には情報をインプットする場があってもアウトプットする場がなかった。そこで知識を使う空間を同設した図書館を設計した。意匠は、神社と森がある歴史性の高い土地柄を考慮したものとした。

